

公立大学法人大阪府立大学
平成18事業年度業務実績に関する評価結果の概要（案）

大阪府総務部行政改革課

公立大学法人大阪府立大学の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府地方独立行政法人評価委員会による評価を受けることとなっており、このたび、平成19年8月31日に開催された第14回評価委員会において、平成18事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

○大項目について、いずれもA評価（計画どおり進捗）であり、大学の教育研究等の質の向上についても計画どおり進捗していることを確認した。

○委員会コメント

「初年度に改革した制度をいかに機能させるかが、2年度目の重要な課題であったが、理事長のリーダーシップの下、教員が意欲的に教育研究に取り組める仕掛け・環境整備に積極的に取り組んでいることを強く感じた。今後、研究教育の実質面で、どのような成果を出されるのか、さらなる発展を期待する。」

※評価結果（計画どおり進捗）は、平成17事業年度と同じ評価。

大項目	評 価					主な判断理由・特記事項
業務運営の改善及び効率化	S	A	B	C	D	○理事長のリーダーシップを活かす取組みが進められ、目標を大きく上回る外部研究資金が獲得された。 ○計画に沿った全学的な運営が着実に進められた。
財務内容の改善	S	A	B	C	D	○目標を大幅に上回る外部研究資金（法人化前の約80%増）を獲得した。 ○経費の抑制や資産の運用管理の改善が着実に進められた。
自己点検・評価及び情報提供	S	A	B	C	D	○全学単位の自己点検・評価の平成19年度実施に向けた準備が、計画どおり進められた。
その他の業務運営	S	A	B	C	D	○施設整備について、多様な事業スキーム等を活用し、早期の施設整備、コスト削減、資金需要の平準化が図られている。
大学の教育研究等の質の向上	「計画どおり」進捗していることを確認					○教育研究活動が着実に進められ、質的向上が図られている。 特筆すべき主な取組みは次のとおり。 ・総合リハビリテーション学研究科の開設、長期履修制度や転学科・転学部制度の導入が予定を上回り進捗した。 ・外部研究資金の法人立替払制度等を導入し、共同研究や受託研究の件数等の実績が年度計画の目標値を上回った。 ・大学発ベンチャーの創出、特許出願・取得、産学官連携の取組み等について、年度計画の目標を上回る実績があった。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている
D：重大な改善事項あり

※「大学の教育研究等の質の向上」については、教育研究の特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、進捗状況の確認にとどめることとされている。